

心豊かでたくましく共に生きる子ども



ひらかた

5月号

令和6年4月30日

上尾市立平方小学校

校長 大野 和孝



ホームページ

上尾市 平方小学校

検索

QRコード

明るく元気な挨拶が響き渡っています

校長 大野 和孝

風薫る5月、若葉のかおりが風に乗れ、心地よい季節となりました。入学式に満開だった桜は若葉が芽吹き、校庭南側の藤が色づいてきました。耳を澄ますと野鳥の美しい鳴き声と子供たちの元気いっぱいな声が聞こえてきます。子供たちは新しいクラスや友達にも慣れ、学校生活を生き生きと送っています。

保護者の皆様におかれましては、年度当初の授業参観及び学級懇談会にご出席いただきありがとうございました。廊下等から懇談会の様子を参観させていただきました。自己紹介等をいただきながら、和やかな雰囲気で行われていました。また、持ち物や自転車の乗り方等でご質問やご意見をいただきました。学校内で共有し、情報提供してまいりたいと思います。

さて、子供たちは、大きな事故もなく、順調に1学期をスタートすることができました。これも、登下校の見守り活動をしてくださっている皆様、1年生の下校に付き添っていただいた保護者の皆様、様々な方々のお陰だと感謝しております。私は、毎朝、門に立ち、登校の様子を見守っています。「校長先生、おはようございます」と明るい声で挨拶してくれる子供たちに会うと、とてもうれしい気持ちになります。しっかり目を合わせて、自分から挨拶してくれる班長さん、その声に合わせて元気のよい挨拶をしてくれる1年生、なかには立ち止まり、体を向けて挨拶してくれる子、その佇まいに感心させられることもあります。

「よい習慣は、第二の天性である」ともいわれます。よい習慣を身に付けることは、人間づくりの基礎・基本となり、一生の宝・財産となることでしょう。平方小合い言葉「あ・い・う・え・お」の「あ」…「あいさつをしっかりと」に今年度もしっかりと取り組んでいきます。

子供たちが安心して過ごせるように・・・

「少し離れた所から、スマートフォンを向けていた人がいました。」

本校の子供たちが登校後に教えてくれました。周囲を見て、今、自分が安全ではない状況にいる可能性があることと認識する力があることに驚くとともに、そのような力を身に付けさせなくてはいけない社会に少々さみしさを感じました。

イラスト等で表現される不審者であれば、見て、すぐ危険を察知できますが、実際はそうではありません。だからこそ、我々大人には、子供たちが安心して大人や社会と関われるように、場合によっては、防犯ベストを着用したり、名札をしたりすることが求められます。また、不用意に声をかけたり、スマートフォンを向けたりしない等、マナーについても考えていく必要があるように思います。

子供たちが学校でも地域でも安心して過ごせるよう、学校・家庭・地域・関係機関がしっかり連携していくこと大切です。子供からの訴えがあった日の下校時、地域を回りました。バイクに乗った警察の方も巡回をしていました。いつも通り、所々で防犯ベストを着た方々が子供たちの安全を見守ってくれていました。社会へのさみしさ以上に平方小の地域に対して心強く感じました。ありがとうございます。